



114  
A2874  
1



再拜謹テ白ス國ノ富饒ヲ致スハ物産ヲ蕃殖  
 スルニアリ物産ヲ蕃殖スルハ運輸ノ便ヲ開ク  
 ニアルハ今復タ喋々之ヲ辨スルヲ須タス然レモ  
 其實全ク之ニ外ナラザルナリ為親竊ニ管下  
 野ノ地勢ヲ察スルニ實ニ奥羽ノ咽喉ニ當レリ而シ  
 テ鬼怒川ノ水運都下ニ達スルノ便アリト雖モ而モ  
 白川船ヨリ氏家驛野ニ至ルマテ道程凡ソ十八里  
 渺漠タル原野實ニ其間ニ在リ而シテ崎嶇ノ坂路  
 亦少ナシトセス為メニ運輸ノ便ヲ欠クヲ甚タシ  
 是故ニ此間ノ地方即チ那須塩谷兩郡野ノ若キハ  
 沃野ノ以テ物産ヲ蕃殖スヘキナキニアラスト  
 雖モ人民常ニ窮乏ニ苦シムモノ多キ所以ンノ

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈





モノハ職トシテ運輸ノ便ヲ欠キ其殖産ノ利ヲ  
與ヘサルニ是レ由レリ是ヲ以テ為親常ニ焦思  
苦慮鑿道ヲ開設シ陸運ノ便ヲ開カント欲スル  
ノ日アリ而シテ一般鑿道ノ利益ハ措テ論セス  
今唯伏シテ管下實際ノ便益ヲ歷擧スルニ其道  
程僅々十八里ニシテ鬼怒川ノ水運ニ達スル一  
ナリ十八里ノ道程多クハ原野ニ係レルニ因リ  
半ハ木道以テ線路ヲ辦スヘキ二十リ那須塩谷  
両郡ノ物産ヲシテ頓ニ其價格ヲ騰貴セシメ人  
民ニ殖産ノ實利ヲ與フル三十リ人民已ニ殖産  
ノ實利ヲ得ハ其勉勵心ヲ興起シ物産ヲ隆盛ナ  
ラシムル四十リ奥羽ノ物産因テ以テ輒スク世  
用ヲ利スルニ至ルヘキ五十リ僻地ノ人民往復

ノ便ヲ得其智識ヲ開通スヘキ六十リ此咽喉要  
勝ノ地ニ於テ鑿道ノ實益ヲ明示セハ前後其線  
路ヲ接續スルニ至ルモ亦難カラサルヘシ是其  
七十リ而シテ今其開設ノ費用ヲ概算スルニ一  
里凡ソ四万圓トシ之ヲ十八里ニ乘スルトキハ  
則チ七十二万圓タリ其之ヲ支辦スルハ廣ク有  
志者ヲ勸誘シ之カ株主ヲ募ルニアリ而シテ其  
募ニ應スルモノハ筋力ヲ勞セス智カヲ假ラス  
シテ確乎不動ノ一大産ヲ興スヲ得則チ華士族  
ノ若キ亦就産ノ目途ヲ建ツヘキナリ其公益タ  
ル實ニ淺少ナラサルナリ為親近項那須原開拓  
ノ實況ヲ巡視スルノ路次其近傍鑿道ヲ設クヘ  
キ路線ヲ檢察シ益々實功ノ奏スヘキヲ確信シ



歸廳ノ後地勢ノ便否費用ノ多寡及ヒ着手ノ順  
序等ヲ精細査覈シテ後建言セント欲セリ然ル  
ニ適ク其雜誌中陸羽諸州ニ於テ鍊道擴張會社  
創立ノ事ヲ掲載セリ其方法タル固ヨリ不可  
如何ニテ知ルヘカラスト雖其目的タル頗ル  
過大ニ似タルアリ蓋シ數年ヲ要セサレハ未夕  
其成功ノ如何ニテ判スヘカラスト然ルニ前陳管  
下ノ事業タル即チ實際歷擧ノ公益アリ復夕一  
日モ遲緩スヘカラスト故ニ其精細ノ調査ハ姑ラ  
ク之ヲ他日ニ讓リ今鄙見ノ要領ヲ摘ミテ先ツ  
之ヲ上言シ尋テ率先シテ有志者ヲ勸誘セント  
欲セリ且既ニ一二資力家ノ最モ信用スヘキモ  
ノアリ首トシテ此起業ヲ願請スヘシ果シテ其

際ニ至ラハ直チニ其願書ヲ申呈セント欲ス仰  
キ願クハ豫シメ事情ヲ垂照セラレ特旨ヲ以テ  
許容セラレントヲ為親頓首再拜

明治十四年二月九日

栃木縣令藤川為親



474  
A 2874  
2

野州阿久津河岸ヨリ磐城國白川驛間  
運輸荷物及人負賃金概算調

大正十一年四月  
隈侯爵邸寄贈

一 去年間

運輸荷物拾万九千五百駄  
往復人負拾万貳千貳百人

但 現今運輸通行スル處ヲ  
以概査セル負數

此賃金拾七万四千四百七拾七円

此譯

運輸荷物拾万九千五百駄

但 一日平均  
三百駄

此賃金拾七万四千九百七拾五円

七万三千駄

他國物品運輸高  
但一日平均貳百駄

此賃金九万九千九百八拾円

但 白川驛ヨリ阿久津河岸迄里程十八里  
壹里ニ付賃金七錢ツ、

内 三万六千五百駄

野州産物品運輸高  
但一日平均百駄

此賃金貳万貳千九百九拾五円

但 各地ヨリ阿久津河岸迄平均里程  
九里壹里ニ付賃金七錢ツ、



人員拾万貳千貳百人

但一日平均  
貳百八十人

此貸金五万六千五百貳圓

五万四千七百五拾人

他國入  
但一日平均百五十人

此貸金三万九千四百貳拾圓

但白川駅より阿久津河岸迄里程十八里  
壹里二百七拾人 金四錢

内  
四万七千四百五拾人

鄂州人  
但一日平均百三十人

此貸金壹万七千八拾貳圓

但各地より阿久津河岸迄平均里程  
九里壹里二百七拾人 金四錢

前件運輸荷物及ヒ人員共現今ヲ概查セル員數  
ニ付彌鐵路開設、上ハ右ニ倍スルモノト確信ス  
依テ其倍數ヲ掲ケ株金、利子及ヒ鐵路ニ関  
スル諸費其餘積金ヲ朱記スル左ノ如シ

一 壹ヶ年間 運輸荷物貳拾壹万九千貳  
往復人員貳拾万四千四百人  
此貸金三拾四万貳千九百五拾四圓

内

金拾万八千圓

但株金七拾貳万圓 割五分、利子

差引

殘金貳拾三万四千九百五拾四圓

但鐵路ニ関スル諸費其餘積金



114  
A 2874  
3

鐵路沿傍之地所收益增加見込

野州鹽谷郡阿久津河岸ヨリ磐城國白河驛迄  
里程十八里白河驛東北へ里程五里合里程二  
十三里

一 鐵道兩傍五里宛十里 長程 二十三里 此積拾億七千三百八方八千坪

此及別三拾五方七千六百九拾六町一

内及別七方千五百三拾九町貳反一

河川道路堤塘之類  
九貳割引

殘及別貳拾八方六千五百五拾六町八反一

此收益金六拾貳万九千貳百三拾五円貳拾錢 但 吉反歩二付  
金拾五錢ノ増益

大隈正  
侯爵  
贈



